

◆ 今週のコメント

- ・ カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症の報告が1例(80歳代男性)あり、本年の累積報告数は3例となっています。
- ・ 劇症型溶血性レンサ球菌感染症の報告が1例(70歳代男性)あり、本年の累積報告数は2例となっています。推定感染地域は国内で、推定感染経路は創傷感染です。
- ・ 侵襲性肺炎球菌感染症の報告が1例(10歳未満女性)あり、本年の累積報告数は7例となっています。京都市では、肺炎球菌ワクチンを定期接種として実施しています。詳しい情報については、下記URLを御参照ください。
 - 高齢者肺炎球菌ワクチンの定期の予防接種について(保健医療課ホームページ)
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000171591.html>
 - 京都市が実施する定期の予防接種について(子どもの予防接種)
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000130799.html>
- ・ 梅毒の報告が1例(10歳代男性)あり、本市の累積報告数は2例となりました。近年、報告数が増加傾向にあります。重症化及び感染拡大を防ぐためには、早期発見、早期治療が非常に重要です。京都市では、平日に市内各保健センターにおいて梅毒を含むHIV・性感染症検査を行っています。詳細については以下のホームページを御覧ください。
 - 京都市情報館「平日HIV検査・性感染症検査(予約不要)」
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000028204.html>

◆ 今週のトピックス: <インフルエンザ>

- ・ 京都市のインフルエンザの定点当たり報告数は29.04(2,004例)となり、前週の定点当たり報告数(29.59)から微減したものの依然として警報レベル「30」に迫る高い値となっています。詳細をトピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数把握の感染症

- ・ 二類: 結核 6例(肺結核 6例, その他結核 なし, 潜在性結核感染者 なし)うち喀痰塗抹陽性 2例
【1月以降の累積報告数 28例(肺結核 19例, その他結核 2例, 潜在性結核感染者 7例)うち喀痰塗抹陽性 8例】
- ・ 五類: カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 3例】
- ・ 五類: 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 2例】
- ・ 五類: 侵襲性肺炎球菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 7例】
- ・ 五類: 梅毒 1例(早期顕症)【1月以降の累積報告数 2例】

定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点69, 小児科定点42, 眼科定点10, 基幹定点1)

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	29.04	2,004
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	4.00	168
	② A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.88	37
	③ 流行性耳下腺炎	0.40	17
	④ 咽頭結膜熱	0.38	16
	⑤ 突発性発しん	0.29	12
眼科	流行性角結膜炎	0.50	5

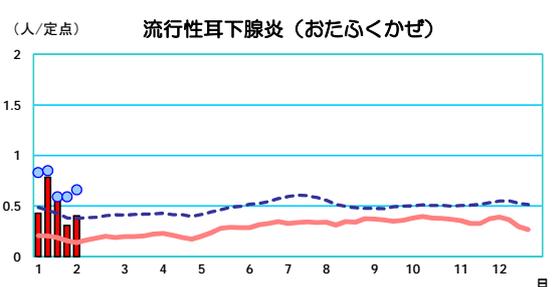
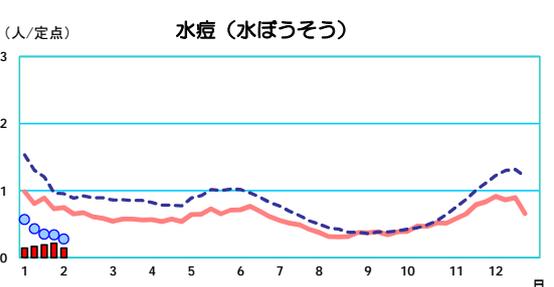
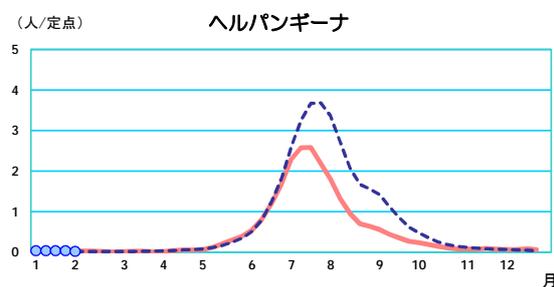
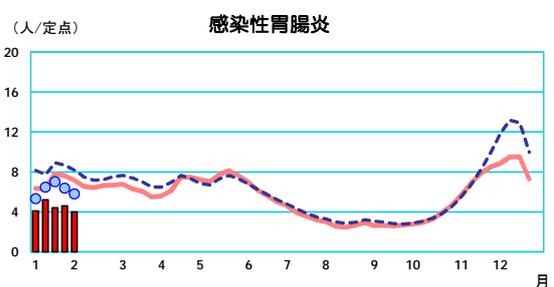
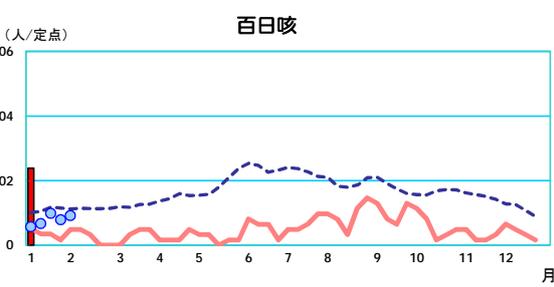
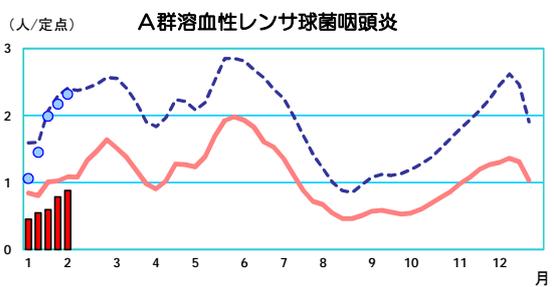
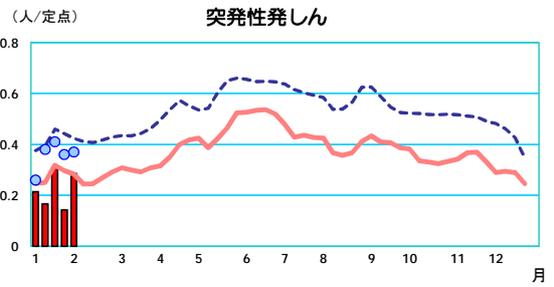
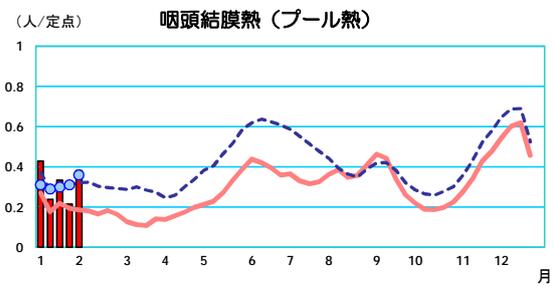
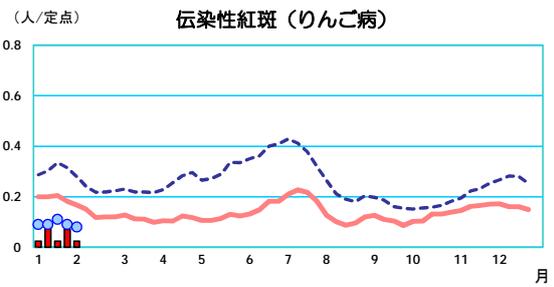
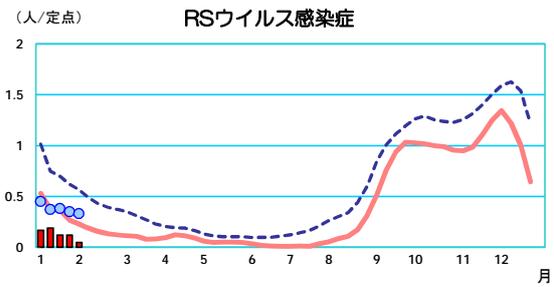
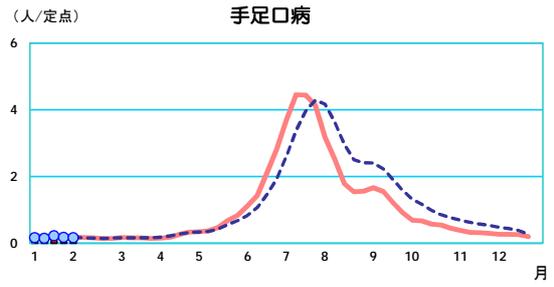
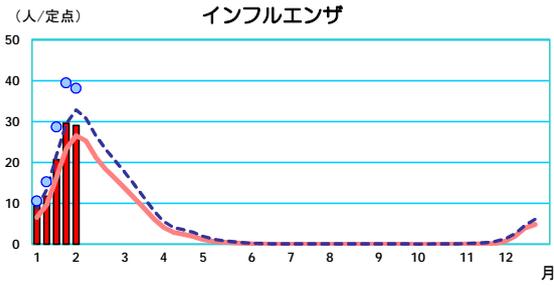
【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス: <インフルエンザ>

付表(疾病, 行政区別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

(注) 京都市のデータは、平成29年2月8日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。
また、本情報での患者数は、届出医療機関所在地での集計で、患者の住所を示すものではありません。

インフルエンザ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（平成29年）



第5週(1月30日～2月5日)トピックス: <インフルエンザ>

京都市のインフルエンザの定点当たり報告数は29.04(2004例)となり、前週の定点当たり報告数(29.59)から微減したものの依然として警報レベル「30」に迫る高い値となっています。全国では前週からすでに警報レベルを超えており、今週は38.14となりました(図1)。予断を許さない状況が続いていますので、今後の発生動向に注意が必要です。

本市の年齢階級別割合の推移をみると、第1週から14歳以下の子どもの占める割合が増え続け、今週は約60%を占めていることから(図2)、保育施設や学校等での集団発生に一層の注意が必要です。

全国のシーズンごとのインフルエンザウイルス分離・検出累積報告数を見ると、隔年で流行する型が入れかわり、今シーズンはA(H3)型2001例(91%)、A(H1)pdm09型115例(5%)、B型84例(4%)と、A(H3)型が大部分を占めています(図3)(国立感染症研究所発表 平成29年2月3日現在報告数)。

感染経路は、主にヒトからヒトへの飛沫感染や接触感染です。予防として、手洗いやうがいを行うことが重要です。また、咳などの症状のある人はマスクを用いた咳エチケット(周囲への感染予防のためにマスクを着用すること)を徹底しましょう。

図1 本市及び全国の定点当たり報告数の推移

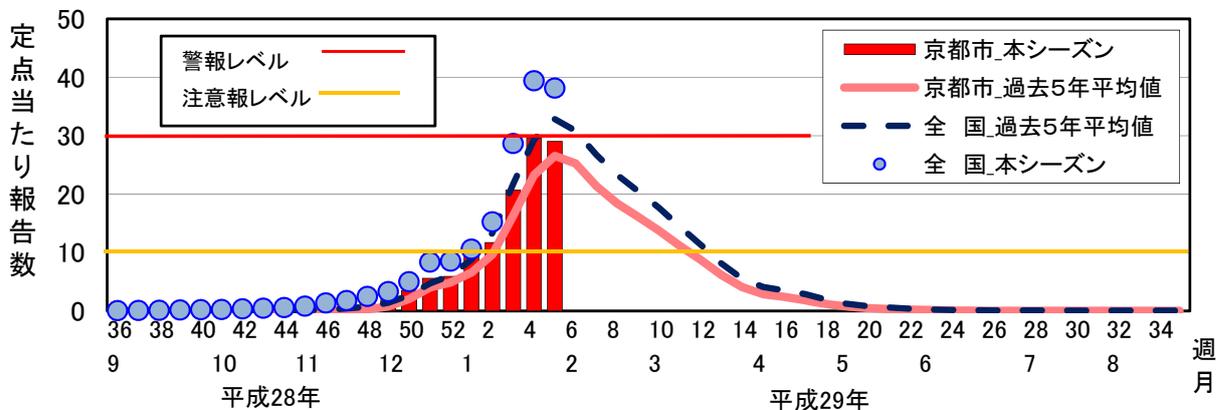


図2 京都市の年齢階級別割合の推移

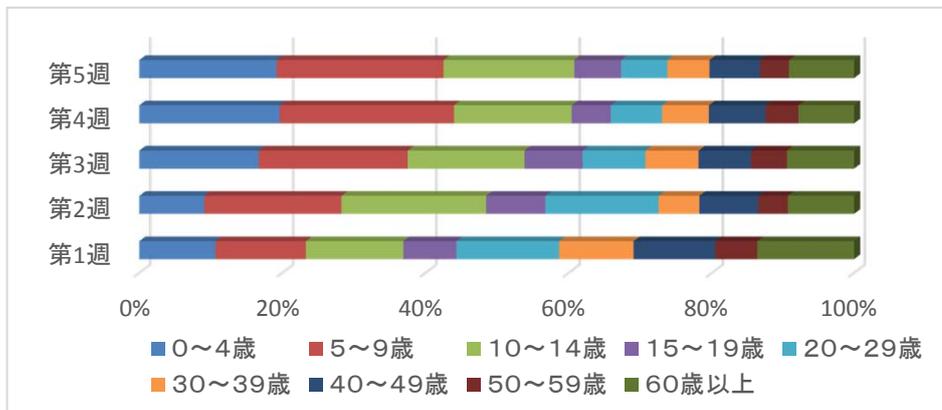
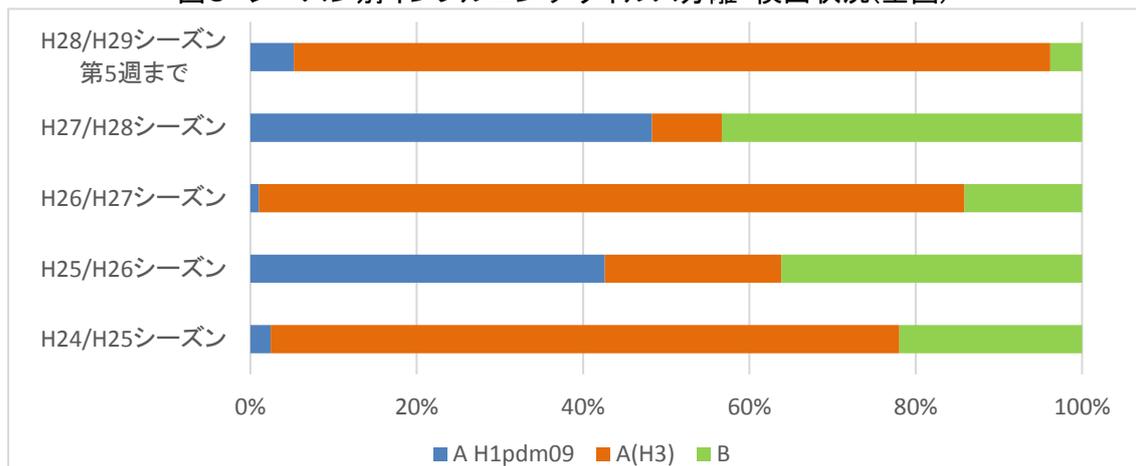


図3 シーズン別インフルエンザウイルス分離・検出状況(全国)



T3201

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成29年第5週

疾病,行政区別報告数

平成29年1月30日～平成29年2月5日

データ入手日:平成29年2月8日

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌 咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 (※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (※3)	感染性胃腸炎 (※4)	
男女合計																				
北	104	1	-	-	4	-	-	-	-	-	-	3	-	3						
上京	118	-	4	2	9	-	-	-	1	-	-	1	-	-						
左京	203	-	2	5	24	-	-	-	-	-	-	2	-	-						
中京	83	-	2	1	4	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	
東山	42	1	-	-	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
山科	314	-	1	8	5	5	-	-	1	-	-	2	-	1						
下京	63	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-						
南	275	-	-	3	23	-	-	-	2	-	-	-	-	-						
右京	267	-	4	4	12	1	5	-	2	-	-	5	-	1						
伏見	349	-	2	10	62	-	-	-	5	-	1	2	-	-						
西京	186	-	1	3	16	-	-	-	1	-	-	1	-	-						
京都市計	2,004	2	16	37	168	6	5	1	12	-	1	17	-	5	-	-	1	-	-	

疾病,行政区別定点当たり報告数

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌 咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 (※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (※3)	感染性胃腸炎 (※4)	
男女合計																				
北	14.86	0.25	-	-	1.00	-	-	-	-	-	-	0.75	-	3.00						
上京	23.60	-	1.33	0.67	3.00	-	-	-	0.33	-	-	0.33	-	-						
左京	29.00	-	0.50	1.25	6.00	-	-	-	-	-	-	0.50	-	-						
中京	16.60	-	0.67	0.33	1.33	-	-	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	1.00	-	-	
東山	14.00	0.50	-	-	4.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
山科	44.86	-	0.25	2.00	1.25	1.25	-	-	0.25	-	-	0.50	-	1.00						
下京	21.00	-	-	0.50	-	-	-	-	-	-	-	0.50	-	-						
南	55.00	-	-	1.00	7.67	-	-	-	0.67	-	-	-	-	-						
右京	33.38	-	0.80	0.80	2.40	0.20	1.00	-	0.40	-	-	1.00	-	1.00						
伏見	31.73	-	0.29	1.43	8.86	-	-	-	0.71	-	0.14	0.29	-	-						
西京	23.25	-	0.20	0.60	3.20	-	-	-	0.20	-	-	0.20	-	-						
京都市計	29.04	0.05	0.38	0.88	4.00	0.14	0.12	0.02	0.29	-	0.02	0.40	-	0.50	-	-	1.00	-	-	

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成29年第5週

年齢階級, 疾病別報告数

平成29年1月30日～平成29年2月5日

データ入手日:平成29年2月8日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	2,004	5	25	80	86	93	95	91	112	94	106	65	366	131	130	118	142	82	62	64	57
RSウイルス感染症		2	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		16	-	1	1	3	3	2	5	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		37	-	2	-	1	3	4	6	3	1	4	2	7	-	4	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		168	1	6	19	19	22	7	18	9	4	4	10	22	2	25	-	-	-	-	-	-
水痘		6	-	1	1	-	-	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病	年齢3	5	-	-	2	-	1	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		12	1	5	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		17	-	-	1	2	1	-	2	4	3	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		5	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1	-	-	-	-
細菌性髄膜炎(※2)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	年齢4	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(※4)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	29.04	0.07	0.36	1.16	1.25	1.35	1.38	1.32	1.62	1.36	1.54	0.94	5.30	1.90	1.88	1.71	2.06	1.19	0.90	0.93	0.83
RSウイルス感染症		0.05	-	-	-	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		0.38	-	0.02	0.02	0.07	0.07	0.05	0.12	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.88	-	0.05	-	0.02	0.07	0.10	0.14	0.07	0.02	0.10	0.05	0.17	-	0.10	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		4.00	0.02	0.14	0.45	0.45	0.52	0.17	0.43	0.21	0.10	0.10	0.24	0.52	0.05	0.60	-	-	-	-	-	-
水痘		0.14	-	0.02	0.02	-	-	0.05	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病	年齢3	0.12	-	-	0.05	-	0.02	-	0.02	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		0.02	-	-	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		0.29	0.02	0.12	0.14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		0.02	-	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		0.40	-	-	0.02	0.05	0.02	-	0.05	0.10	0.07	0.07	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		0.50	-	-	-	0.20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.10	0.10	0.10	-	-	-	-
細菌性髄膜炎(※2)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	年齢4	1.00	-	-	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(※4)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成29年第5週

週, 疾病別報告数

データ入手日:平成29年2月8日

京都市	男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)		404	651	809	1,427	2,042	2,004
RSウイルス感染症		6	7	8	5	5	2
咽頭結膜熱		33	18	10	14	9	16
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		32	19	23	25	33	37
感染性胃腸炎		332	172	219	185	193	168
水痘		6	6	7	8	9	6
手足口病		4	6	2	11	10	5
伝染性紅斑		1	1	4	1	3	1
突発性発しん		10	9	7	13	6	12
百日咳		-	1	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		9	-	1	2	1	1
流行性耳下腺炎		25	18	33	26	13	17
急性出血性結膜炎		-	-	1	-	-	-
流行性角結膜炎		6	4	3	3	6	5
細菌性髄膜炎 (※2)		-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎		-	1	-	-	-	1
クラミジア肺炎 (※3)		-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)		-	-	-	-	-	-
合計		868	913	1,127	1,720	2,330	2,275

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市	男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)		5.86	9.43	11.72	20.68	29.59	29.04
RSウイルス感染症		0.14	0.17	0.19	0.12	0.12	0.05
咽頭結膜熱		0.79	0.43	0.24	0.33	0.21	0.38
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.76	0.45	0.55	0.60	0.79	0.88
感染性胃腸炎		7.90	4.10	5.21	4.40	4.60	4.00
水痘		0.14	0.14	0.17	0.19	0.21	0.14
手足口病		0.10	0.14	0.05	0.26	0.24	0.12
伝染性紅斑		0.02	0.02	0.10	0.02	0.07	0.02
突発性発しん		0.24	0.21	0.17	0.31	0.14	0.29
百日咳		-	0.02	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		0.21	-	0.02	0.05	0.02	0.02
流行性耳下腺炎		0.60	0.43	0.79	0.62	0.31	0.40
急性出血性結膜炎		-	-	0.10	-	-	-
流行性角結膜炎		0.60	0.40	0.30	0.30	0.60	0.50
細菌性髄膜炎 (※2)		-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎		-	1.00	-	-	-	1.00
クラミジア肺炎 (※3)		-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)		-	-	-	-	-	-
合計		17.36	16.95	19.60	27.89	36.91	36.85

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。